取説番号 ME-1332

# ㈱新日軽　ビューバルコ　柱建て仕様　施工マニュアル

## 販売店・工事店様へのお願い

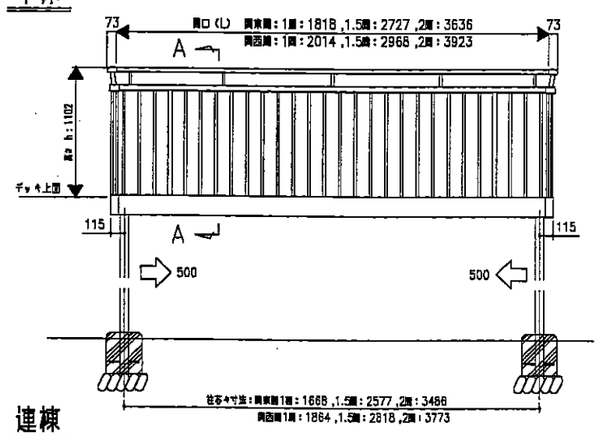
- 柱建て仕様は、後付け専用です。先付け金具の取付は必要ありません。
- バルコニー本体の施工マニュアルも合わせてお読みください。

## 梱包明細

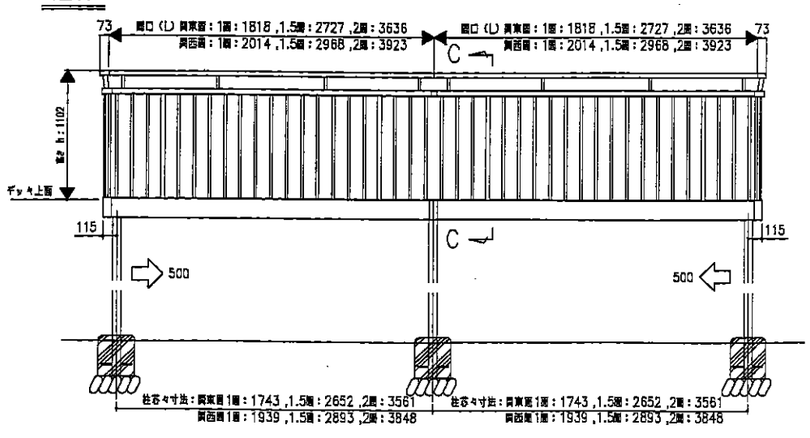
| 製品名称 | 製品記号 | 梱包内容 |
|---|---|---|
| 柱 | (CHSF) KBWHP | 柱L=3749 ② ： セット部品（SE-1271-01）<br>アンカー縛 ② ： 柱固定金具 ② M8X16六角ボルト ④ M8ナット ④ M8用スプリングワッシャー ④<br>M5X12トラス3種 ⑧ 妻梁 躯体取付金具 ② φ8X75コーチスクリュー ④<br>M8用ワッシャー ④ 孔フサギシール ④ 躯体取付金具あて紙 ① 取付説明書 ① |
| 間柱 | (CHSF) KBWHRP | 柱L=3749 ① ： セット部品（SE-1271-02）<br>アンカー縛 ① ： 柱固定金具（連結用） ① M8X16六角ボルト ② M8袋ナット ②<br>M8用スプリングワッシャー ② M5X12トラス3種 ④ 妻梁 躯体取付金具 ①<br>φ8X75コーチスクリュー ② M8用ワッシャー ② 孔フサギシール ④ |
| コーチスクリュー φ8X120 | BCSL | φ8X120コーチスクリュー ⑩ |

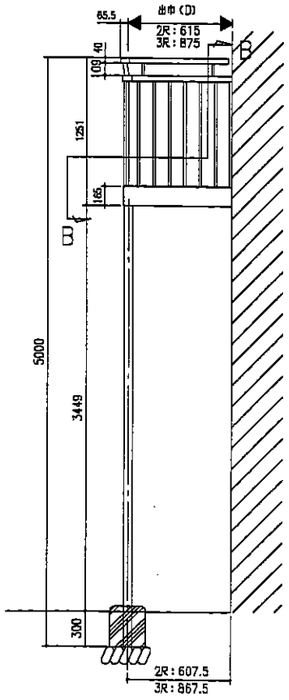
## 姿　図（S=1/50）

### 単体

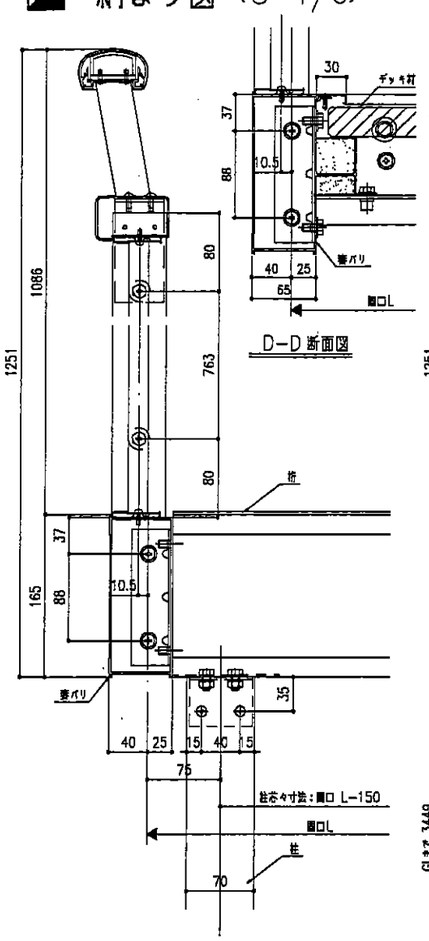



### 連棟

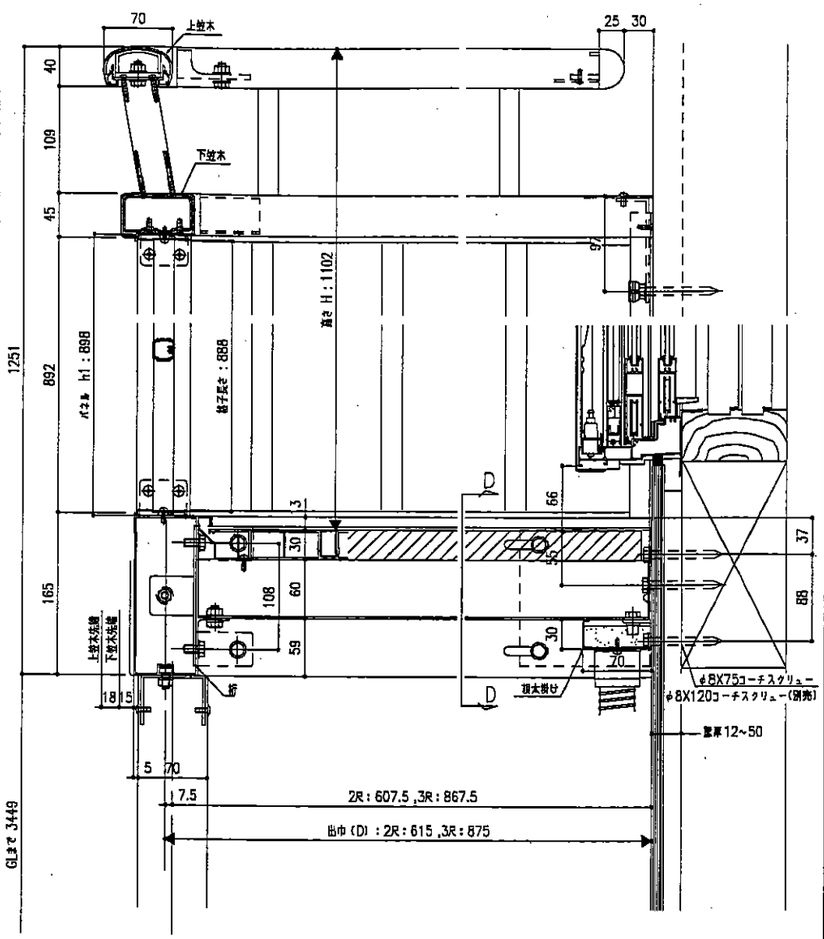



## 納まり図（S=1/6）

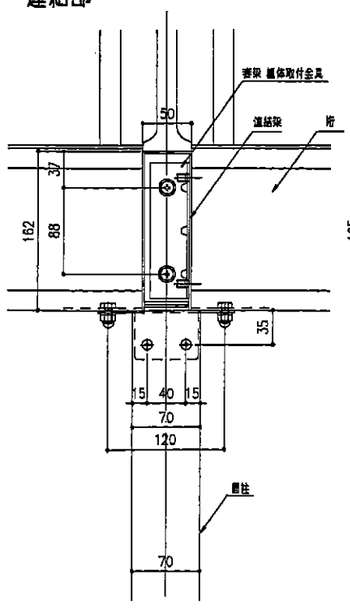


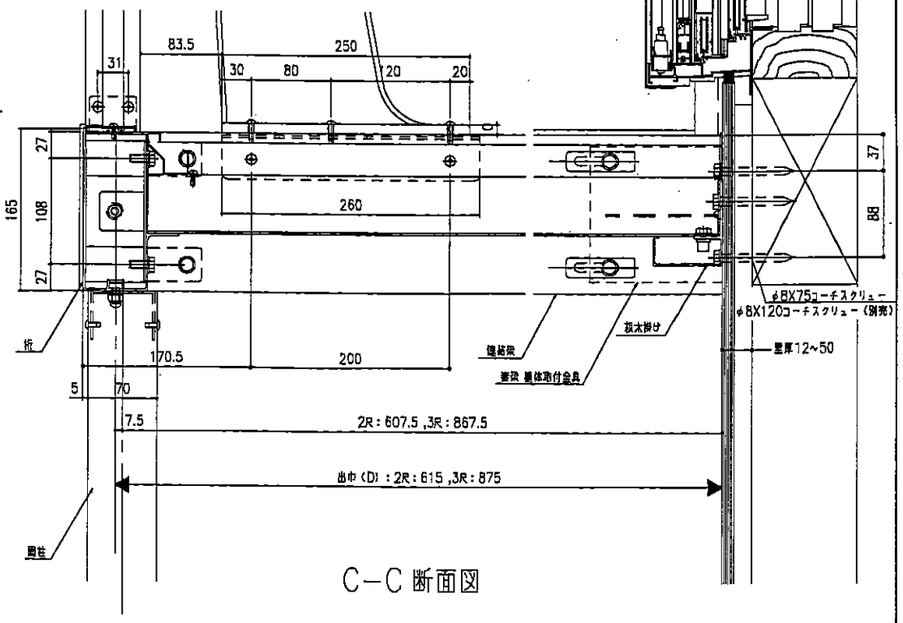

B-B 断面図




A-A 断面図

### 一連結部一

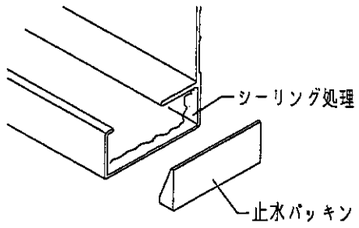


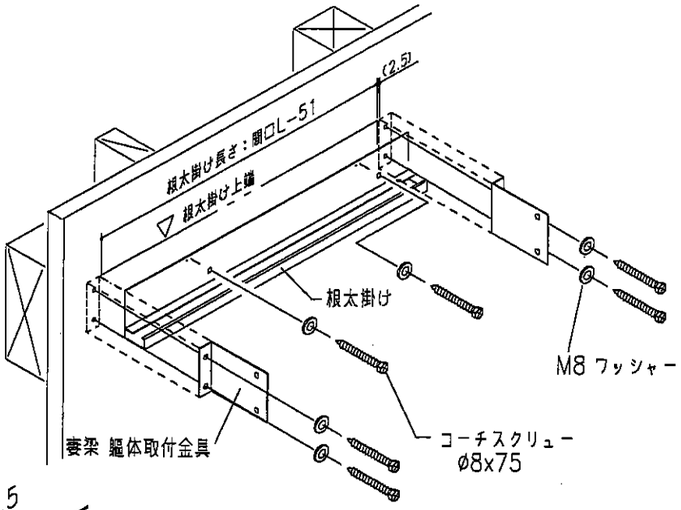




C-C 断面図

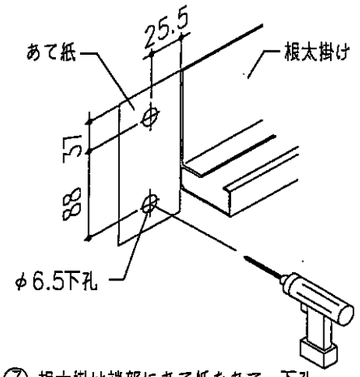
## 1 根太掛け・妻梁 軀体取付金具の取付

① 根太掛け小口を、シーリング処理してください。

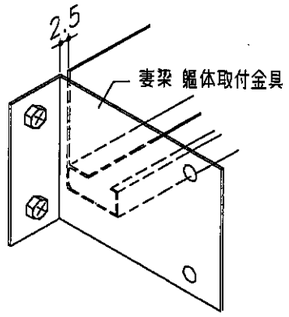



② 根太掛けをコーチスクリュー（ø8x75）で軀体に固定します。




③ 根太掛け端部にあて紙をあて、下孔ø6.5mmをあけてください。




④ 妻梁 軀体取付金具をコーチスクリュー（ø8x75）で固定します。

**注）妻梁 軀体取付金具と根太掛けの間は、2.5mmあけてください。**

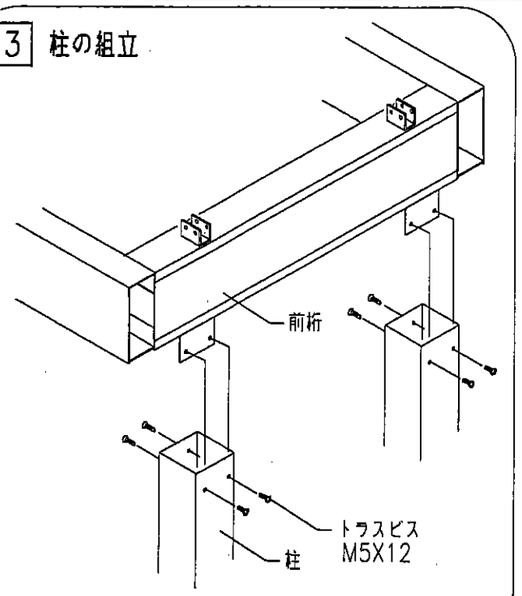
「参照」 下孔ドリル径

| | |
|---|---|
| ø8x75 コーチスクリュー | ø6.5' |

**注）コーチスクリューを取付ける際、軀体側に柱・間柱・胴差し等があることを確認の上、取付けてください。**

**また、雨漏れ防止のため取付孔には十分シーリング材を充填した後、取付けを行なってください。コーチスクリューは、確実にねじ込んでください。**

## 3 柱の組立

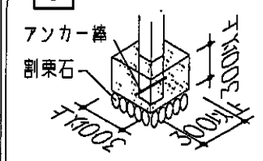



柱固定金具に柱をトラスビス（M5X12）で固定してください。

## 4 根太・デッキ材・笠木パネルの組立

本体 取付説明書（ME−1055）の 5 ～ 18 を参照してください。

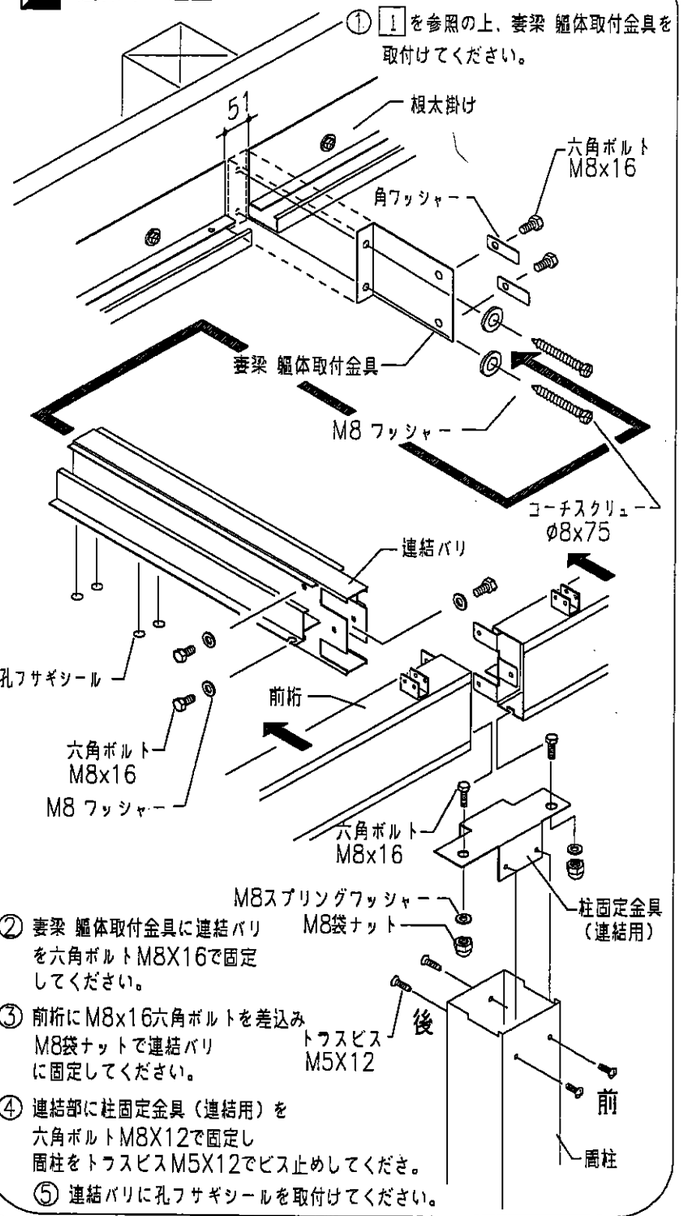
## 5 柱の埋め込み




本体施工後、柱の垂直、前桁と妻梁の水平を確認の上、柱を固定してください。

## 連棟部の組立

① 1 を参照の上、妻梁 軀体取付金具を取付けてください。



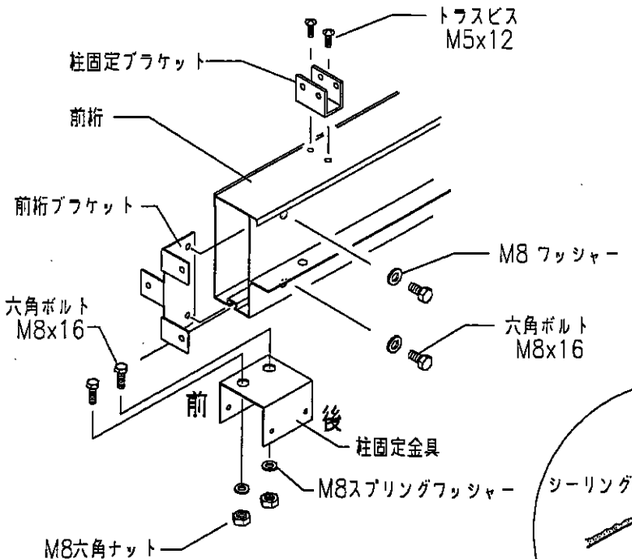

② 妻梁 軀体取付金具に連結バリを六角ボルトM8X16で固定してください。

③ 前桁にM8x16六角ボルトを差込みM8袋ナットで連結バリに固定してください。

④ 連結部に柱固定金具（連結用）を六角ボルトM8X12で固定し間柱をトラスビスM5X12でビス止めしてくださ。

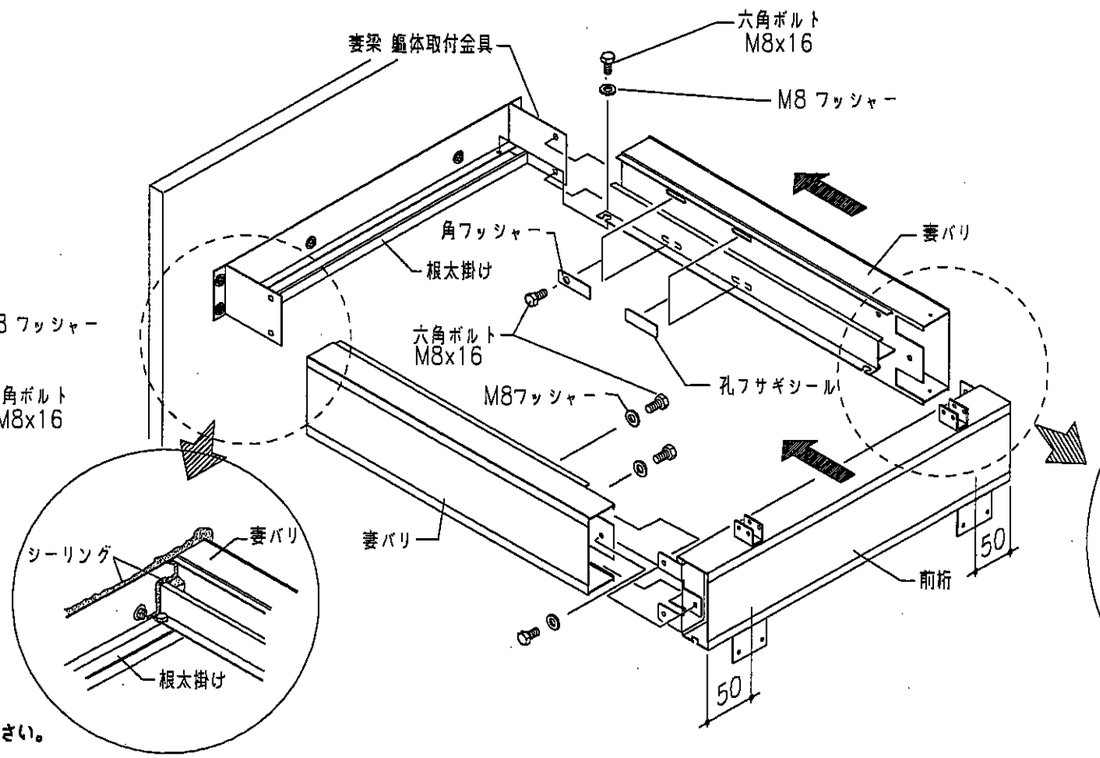
⑤ 連結バリに孔フサギシールを取付けてください。

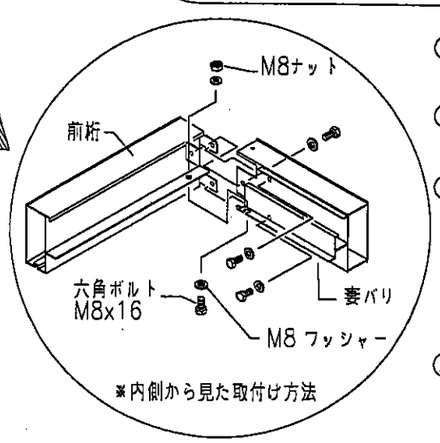
## 2 前桁・妻バリの組立




① あらかじめ前桁に前桁ブラケット・柱固定ブラケット・柱固定金具を取付けておきます。

**注）柱固定金具には前後があります。確認の上取付けてください。**




※内側から見た取付け方法

② 妻梁 軀体取付金具に妻バリをM8X16六角ボルト・角ワッシャーで固定してください。

③ 妻バリ側面の長孔を孔フサギシールで塞いでください。

④ 妻バリ に前桁ブラケットを差込みボルト締めします。

注）妻バリに前桁ブラケットを差込む際、入りにくい場合は、無理に叩いたりせず一度前桁のボルトをゆるめてすり合わせの上、固定してください。

⑤ 妻梁と壁面間にシーリング材を充填します。

**注）根太掛け上部にも充分にシーリング処理を行ってください。**